

花園公民館

★ふれあい ☆まなび ○つなぐ
地域づくりの拠点

文責 公民館長
堀内 澄夫

本年度の公民館運営委員の紹介

公民館運営委員の方々には、公民館における各種事業の企画・実施、その他の運営に関する事項について協議をお願いし、公民館活動の推進にご尽力いただいております。

本年度の委員の方々は、次のとおりです。

合志 亨 (振興会長)

三隅 典次 (社会福祉協議会代表)

星野 恵 (婦人会長)

萱野 玲奈 (婦人会副会長)

加藤 純子 (婦人会副会長)

小郷 秀一 (老人クラブ会長)

堀内 貴也 (体育会長)

那須 亮作 (小学校教頭)

吉田 直哉 (小学校主幹教諭)

加納 鉄二郎 (小学校PTA会長)

白石 育代 (自主講座代表)

箱崎 照美 (ボランティア代表)

堀内 澄夫 (公民館長)

源五郎丸 由美子 (公民館アシスタント)

以上十四名

*本年度の公民館運営委員会は五月二十二日(月)に実施し、委員の皆様にご挨拶の交付や事業内容について協議しました。

地域学校協働活動とは

地域学校協働活動とは、「地域全体で学校を支援することで、地域の活性化や学校を核とした地域づくりを目指す活動」と言われています。そして、地域と学校をつなぐ要として地区公民館があります。地域と学校の橋渡しとして頑張る所存です。

新型コロナウイルス前の学校では、読み聞かせボランティアや丸つけボランティアをはじめ、学習の内容によって地域人材を活用されてきました。

新型コロナウイルスが五月八日(月)に二類から五類に移行しました。それにより学校の従来の行事も少しずつ復活しつつあります。

学校は無理せず、できるところから地域の方や関係機関と連携を図っていかれることと思います。



先月、私は学校の畑で四・五年生の玉ねぎの収穫支援にボランティアとして参加しました。子供たちは玉ねぎの収穫の喜びを体験して

いました。今後もこのような体験活動が増えることを期待しています。

花園地区青少年健全育成協議会の活動内容

花園地区青少年健全育成協議会(略して青少協)は、地域住民と各種団体関係機関が連携の上、地域ぐるみで青少年の健全な保護育成を図ることを目的にしています。

主な内容としては、総会、夏休み前の会議、各地区に啓発用看板の設置、長期休業中(春、夏、冬)のパトロール、青空教室(年間八回)の活動への経済的支援、小学生の体育・文化面での九州大会や全国大会出場への助成金、六年生の卒業記念品(化石のレプリカ)づくりへの経済的支援等、様々な活動をしています。

花園地区児童の健全育成のために、毎年各地区から負担金をいただき、有効に活用している状況です。



なお、本年度の花園地区青少協の総会は、六月十日(土)、午後五時三〇分から花園コミュニティセンターで実施します。

館長のつぶやき

私と妻は、五月十二日(金)十四日(日)にかけて東京・横浜に出かけました。その目的は、二つありました。一つ目は、東京ドームでの巨人戦の観戦。二つ目は、三男夫婦が住んでいる横浜市内の名所見学でした。

一日目は、七年ぶりのナイター観戦。声出し応援も大丈夫でしたので、途中までは大盛り上がりでした。しかし、十回の表に相手に満塁ホームランを浴びて万事休すでした。ただ、びっくりしたのは、ドーム内の飲食物は全てキャッシュレスでの販売になっていましたので、ICカードやスマホでの精算でした。東京はどんどんキャッシュレス化が進行していました。

二日目は、三男夫婦の案内で、横浜赤レンガ倉庫、山下公園、大観覧車、ロープウェイ等の見学をしました。夜は、中華料理に舌鼓を打ち、横浜の夜景を満喫しました。三日目は、横浜・東京の繁華街を夫婦珍道中の旅でした。この三日間で感じたのは、夫婦共に元気であることに尽きると思えました。この三日間で五万歩達成!